

子ども健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)
論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル:

Maternal Chronic Disease and Congenital Anomalies of the Kidney and Urinary Tract in Offspring: A Japanese Cohort Study

和文タイトル:

母親の慢性疾患と子どもの先天性腎尿路異常: 日本でのコホート研究

ユニットセンター(UC)等名: 福岡ユニットセンター

サブユニットセンター(SUC)名: 九州大学サブユニットセンター

発表雑誌名: American Journal of Kidney Diseases

年: 2022

DOI: 10.1053/j.ajkd.2022.03.003

筆頭著者名: 西山 慶

所属 UC 名: 福岡ユニットセンター

目的:

母親の慢性疾患は、子どもの CAKUT(先天性腎尿路異常)のリスク要因であると報告されていますが、これまでの研究は症例対照研究で、腎尿路以外の先天形態異常を伴う複雑型 CAKUT と伴わない単独型 CAKUT を区別していませんでした。私たちは、母親の慢性疾患と、単独型・複雑型 CAKUT それぞれの関連を調査しました。

方法:

エコチル調査に登録された子どものうち、100,239 人を対象としました。母親と子どもの疾患についての医師の診断は、医療カルテ転記と質問票にて収集しました。対象となる母親の疾患は、肥満、高血圧、糖尿病、腎疾患、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、精神疾患、てんかん、がん、自己免疫性疾患としました。生後 3 年間に診断された CAKUT は単独型と複雑型に分類しました。

結果:

100,239 人の子どものうち、560 人(0.6%)が CAKUT と診断され、そのうち単独型が 454 人(81%)、複雑型が 106(19%)でした。単独型 CAKUT のリスクは、母親が腎疾患の経験がある場合に 1.80 倍、がんの経験がある場合に 2.11 倍となっていました。また複雑型 CAKUT のリスクは、母親が糖尿病を持つ場合に 3.04 倍でした。

考察(研究の限界を含める):

この研究では、母親の慢性疾患と子どもの CAKUT の関連を調べ、単独型と複雑型の CAKUT には、それぞれ違った母親の疾患が関連していることを示しました。ただし、地域によってエコチル調査への参加率が異なる、診断名の一部が質問票から得られている、診断の基準や方法が統一されていない、発症・重症度・薬剤などの詳細な情報が得られず、特定の疾患名もわからないなどの制約があります。また遺伝的な検査が行われていないことも制約の一つです。

結論:

この研究では、CAKUT を単独型と複雑型に区別して、それぞれの型が別々の母親の慢性疾患に関連していることを見出しました。この結果は、妊娠の可能性のある女性について疾患の管理を良くするだけでなく、単独型と複雑型の CAKUT の成因に潜在的な違いがあることを示しています。